

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3871000414
法人名	有限会社 土香里
事業所名	グループホーム 土香里
所在地	愛媛県伊予市大平字片山甲2 2 5 - 1
自己評価作成日	平成22年8月15日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年9月9日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

職員全員がキャリアアップのため、研修の参加や職員主体の勉強会などに力を入れている。利用者だけではなく、家族との関係も大切に、気軽にきていただけるように努力している。
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

日々の記録から、毎月、利用者の言葉や職員の気付きを抜き出し「やりたいこと、興味のあること、できること」をまとめ、利用者の状態に即した支援を行うためにアセスメントされている。「みんなにびったりのレクリエーション」とネーミングして利用者個々の支援内容を具体的に示して、名前とともに居間の壁に貼っておられた。 利用者の中には「一番風呂」を好まれる方、また遠慮して「最後に」とおっしゃる方もあるようで、利用者のそれぞれの思い等も大切に、利用者や相談しながら入浴を支援されている。又、入浴を嫌がられる方には、タイミングを見ながら声かけして「入ってみようか」という気持ちになるような声かけにも努めておられる。時には、夜間に入浴される方もある。ラジオを聞きながら入浴されたり、歌を歌ったりされる方もある。
--

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム 土香里

(ユニット名) 木の果

記入者(管理者)  
氏名 河本 圭仁

評価完了日 平成22年 8月 15日

# 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			理念を壁にかけ、常に心に留められるようにしている。	
			(外部評価)	
			事業所の理念にもとづき、今年度は『その手、その言葉に「心」を込めて』と事業所の目標を決めておられる。ユニット目標や、さらに月目標も立てて、より具体的に日々取り組めるようにされている。今年度末には新たに事業所の理念を作成したいと、現在、職員会議等で話し合われている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			ご近所付き合いも普通に行われ、日常的に行き来も多い。	
			(外部評価)	
			法人代表者は、組内の集会等にも出席して「事業所で出来る事は、お手伝いしますので、声をかけてください」と発信しておられ、地域の秋祭りには、職員がお神輿を担ぐことになっていた。7月の運営推進会議後には、地域の方達との親睦会を行われ、職員は「一人暮らしの高齢者は、何かあったらホームに連絡をください」と伝えられた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			組内の常会や、運営推進会議において、認知症についての勉強会を行っている。	
			(外部評価)	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議では、外部評価結果の公表や、分析結果 について話し合う機会を設けており、取り組みと、取 り組み状況について話し合っている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>今年度から、地域の方のご意見で、開催場所を地区の 集会所に変更された。会議に参加されていた方が知り 合いに声をかけてくださり、地元の方の参加が多く なっている。事業所では「事業所のことをさらに知っ てもらいたい」と会議をすすめておられ、会議時「グ ループホームの本来の役割」を説明されたり、スライ ドショーで事業所の行事や様子を報告されたり、看取 り支援の事例を発表しておられる。又、外部評価結 果・家族アンケートの集計表を用いて報告して、意見 交換をされている。会議時には、お弁当を用意され、 食事をしながら報告を聞いてもらったりご意見をわか がうようにされている。市外のホームの方や職員も多 数参加されて、会議の最後には、皆で唱歌「ふるさ と」を歌っておられる。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会議に参加していただき、取り組みや問題点 について一緒に話し合っている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>運営推進会議時、市の担当者から、地域の小学生に認 知症の理解を深めてもらうための絵本教室や、認知症 サポーター養成講座への協力依頼をされている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>夜間以外は玄関に施錠することなく、自由に出入り できるようにしている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>車椅子を使用しておられる利用者の体がずれ落ちない よう、座布団やクッション等を使って工夫されてい た。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  出来ている。内部勉強会で虐待防止のテーマで話し合ったこともあり、法人代表及びリーダーは職員の心のケアについて取り組んでいる。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  だいたい出来ている。権利擁護に関する研修があれば極力参加している。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  もっと細かい部分までお尋ねし、ご本人、ご家族共に入居後の生活に役立てたい。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  日頃の定期受診の際、ご家族との同行を行っており、道中、待合時間に色々な意見が聞かれ、運営に反映させている。  (外部評価)  前回の評価結果を受けて、目標達成計画にも挙げ「病院受診の行き帰りや待ち時間を利用してご家族とお話して関係を深めたり、ご意見や要望を聞く」ように取り組まれており、毎月ご家族へお送りするお手紙にも、受診日を明記しておられる。事業所で餅つきを行った際には、ご家族に手伝ってもらったり、又、手打ちうどん作り等、ご家族も一緒に活動する機会も作っておられる。	事業所では、ご家族の声を大切にされており、声を多く聞かせていただきたいと考えておられる。今後もご家族との関係作りに取り組まれ、利用する立場から気付いたことやご意見を引き出していかれてほしい。又、運営推進会議に出席がむずかしいようなご家族や、ホームに足遠くなっているようなご家族の声等も聞けるような工夫も重ねていかれてほしい。

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	(自己評価)	
			<p>法人代表はミーティング、カンファレンス、リーダー会、勉強会などで職員から出された提案を積極的に聞いている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>毎月、職員が交替で「自分が知りたいと思ったこと」をテーマに、資料等も準備して「成年後見制度」「ストレスのコントロール」「感染症」「看取り」等、勉強会を行っておられる。法人代表者は、職員が利用者に関わる時間を多く持てるよう、職員の体制を手厚くされている。</p>	
12		<p>就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	(自己評価)	
			<p>もう少し、昇給などを用い、職員がより向上心を持てるようできたらいいと思う。</p>	
			(外部評価)	
			<p>年間計画を立て、職員全員が月代わりで講師になり施設内研修を行っている。また、代表者が職員それぞれに見合った研修の声かけを常に行い参加の機会を確保している。</p>	
13		<p>職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	(自己評価)	
			<p>GH協の研修に殆どの職員が参加し同業者と交流する機会をもっている。相互研修にも参加し、運営推進会議にも同業者に声を掛け参加をしてもらったりしている。顔見知りがどんどん増えてきている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	
14		<p>同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	(自己評価)	
			<p>GH協の研修に殆どの職員が参加し同業者と交流する機会をもっている。相互研修にも参加し、運営推進会議にも同業者に声を掛け参加をもらったりしている。顔見知りがどんどん増えてきている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		<p>初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	(自己評価)	
			<p>入浴時などを利用し、本人より不満、要望などを聴いて、極力安心を確保できるように努めている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>入浴時などを利用し、本人より不満、要望などを聴いて、極力安心を確保できるように努めている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	(自己評価)	<p>入居前から、出来る限りグループホームに立ち寄っていただき、職員とのコミュニケーションを大切にしている。</p>
			<p>本人、家族から、要望等の聞き取りはしているが、他のサービス利用も含めた対応には至っていない。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	(自己評価)	<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>
			<p>理念のとおり、生活の中で共に感動を共有していこうとしているが、職員によっては、介護する側という目線を感じる。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	(自己評価)	<p>ご家族と連絡を密にしているが、担当制にしているため、関係の深浅は職員によって違ってきている。</p>
			<p>出来る限り、昔住んでいたところに個別外出している。</p>	
19		<p>本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	(自己評価)	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>
			<p>市外の「生まれた家を見に行きたい」と職員と出かけ、お墓参りもされた。職員とご自宅に御詠歌の道具を取りに戻り、事業所で御詠歌を披露してくれる方もおられる。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	(自己評価)	<p>市外の「生まれた家を見に行きたい」と職員と出かけ、お墓参りもされた。職員とご自宅に御詠歌の道具を取りに戻り、事業所で御詠歌を披露してくれる方もおられる。</p>
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 努力はしているが、時に利用者同士のトラブルもある。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 実際に、過去に入居されていた方のご家族が立ち寄ってくれることもある。また、退居後も相談の対応も出ている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 1対1の外出時や、入浴時を利用して、本人の思いを聴きだしたり、ご家族から昔の本人の話を伺ったうえで本人の思いを推測している。	
			(外部評価) 日々の記録から、毎月、利用者の言葉や職員の気付きを抜き出し「やりたいこと、興味のあること、できること」をまとめ、利用者の状態に即した支援を行うためにアセスメントされている。「みんなにぴったりのレクリエーション」とネーミングして利用者個々の支援内容を具体的に示して、名前とともに居間の壁に貼っておられた。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 個別の記録がすぐに関覧できるようにし、個別経過についての把握に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 把握に努めているが、職員によって見方が異なっているため現在、その対策へ取り組んでいる。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>定期受診の際、ご家族の同行をお願いしている。その時、職員とご家族で介護計画について話し合っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画は、利用者やご家族の言葉・日々利用者とのかかわる職員の気づき等を探り入れ、利用者個々の担当職員と計画作成担当者で話し合い、作成されている。「おいしいものが食べたい」とのご本人の願いに、ご親族が経営している飲食店に食事に出かけることを計画に採り入れておられた方もあった。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別記録によって情報の共有を行っているが、活かされていない。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>代表者、職員ともに何か出来ることはないか、普段から話し合っている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>まだまだ地域資源を把握しきれしていないが、活用している地域資源もある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価)	
			かかりつけ医は、本人、家族の希望を最優先にしている。	
			(外部評価)	
			利用者のほとんどの方は、以前からのかかりつけ医に続けて診てもらえるよう支援されている。ご家族が受診に付き添われたり、ご家族に事業所に来ていただき、職員も一緒に同行されたり、時には、病院でご家族と待ち合わせをする場合もある。週3回透析をされる利用者もあり、職員が送迎されている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価)	
			看護職員は常に介護職員と情報交換を行い、連携を図っている。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			代表者、介護支援専門員によって、病院の地域連携室との関係づくりを行っている。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			運営推進会議で看取りについて、事例を交えての話し合いを行った。また、ご家族に受診の同行をお願いしご本人の様子を医師から説明していただき今後の支援について話し合う機会を設けている。	
			事業所の看取りの指針に基づいて、ご家族、医師と話し合いを行い、利用者個別に看とりの指針を作成されている。ご家族からは「本人には告知しないように」「現在の病気に対する延命治療は要らない」等、さまざまな希望が出ているようだ。出来るだけ口から食事を摂ることを続けられるよう、ご家族からの希望もあり、夕食時、ご家族が食事の介助に来てくださる等、協力し合って支援されている。8月に職員主催で看取りの勉強会を行われたり、看取り支援を行う際には、ご本人の居室への訪問回数を多くして体位交換をされたり、室温等にも気を付けるようにされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 救命救急士による救命救急研修を事業所にて行い、職員全員が参加している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 定期的に避難訓練を行っている。また、近隣の方への連絡方法も文書化しており、いざという時の協力依頼もしている。次回の運営推進会議にて、地域の消防団の方と共に訓練を行う予定である。	
			(外部評価) 利用者の顔写真と連絡先をいざという時、すぐ持ち出せるよう玄関に用意されている。地域の方には、避難した際、利用者の顔写真を見て避難状況を確認していただいたり、避難場所での見守りをお願いされている。前回の避難訓練では、実際に緊急通報装置を使用し消防署に通報する訓練や、職員が利用者役になってシーツを使用して避難させる訓練を行ってみられた。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 一部職員に不適切な声かけがみられることがある。	
			(外部評価) 利用者の呼び方は、入居時に、ご本人ご家族にお聞きして希望によって、職員が利用者を「～ちゃん」と呼んでいる方もある。法人代表者は「大きな家族になりたい」との思いのもと運営に努力されており、毎月の勉強会の後、8月からは、法人代表者が「職員一人一人の人間性を高めたい」と、自己啓発の勉強会を行ってられる。 職員の利用者への声かけや対応・呼び方等、信頼関係のもと行われているだろうが、時に、全職員でケアを点検されたり、ご家族や運営推進会議時にもご意見や気付きを出していただきながら、事業所のさらなるケアサービスの質の向上に努めていかれてほしい。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 個別外出に力をいれ、行きたい所を本人に決めてもらっている。しっかりと話を聞きしっかりと待つてあげることによって自己決定の支援をしているが、職員の都合で決定してしまうこともある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)  職員の都合が優先になってしまうことがある。反省し改善が必要。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)  起床時、外出時など特に気をつけて支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)  職員、入居者が一緒に和気藹々と食事ができている。が、職員の都合優先になってしまい、利用者が出来ることも職員がしてしまっている事も多い。	
			(外部評価)  梅干しやキュウリでからし漬を作り、その時のエピソード等もお話ししながら食べるようにされている。ご家族から食事の献立についての要望があったことがきっかけとなり、普段のホームの食事を運営推進会議で試食してもらう予定になっていた。誕生日には、手作りケーキでお祝いされているが、ケーキがお好きでない方の誕生日には、好きなお寿司をケーキの形に作って、ろうそくを立てお祝いされている。持病のある方もあり、味はうす味を心がけ、又、食が進まない方には、おにぎりにしたり、時間を置いてすすめたりされている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)  専属の栄養士がカロリー計算をし、献立を立てている。また、入居者それぞれに見合った一日の水分量が確保できるよう、チェック表に記入している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)  毎食後口腔ケアを行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	個別の排泄パターンにより支援を行っている。紙パンツより布パンツへの移行が成功した入居者もおられる。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	極力薬を使わぬように牛乳等で便秘対策をしている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	本人の希望を尊重し毎日でも入浴できるように支援している。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	個別に時間を決め休息がとれるように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)  処方箋はいつでも見ることが出来るようにしているが全員は理解できていない。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価)  日々の生活の中でさりげなくご家族や本人に趣味や得意なことを聞き日々の支援に活かすようにしている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価)  外出日は決めてあるが、それ以外の日でも本人の希望があれば、担当を中心にいつでもどこでも出かけられるように支援している。	
			(外部評価)  計画作成担当者や管理者は、フリーな立場で勤務されており、利用者が「行ってみたい」と希望される時には、実現できるような体制作りを努めておられる。職員のアイデアで、県の歴史文化博物館に出かけた際には、展示物を懐かしそうに眺めておられる方や売店に売られている歌手や女優等のプロマイドをみて、詳しく教えてくださる方もあった。動物園では動物の赤ちゃんとふれあい楽しまれた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)  まとまったお金は事務所で管理しているが、自己管理できる利用者は本人がお金を所持し買い物等好きなきに使えるように支援している。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)  本人の希望により、いつでも自ら電話をかけたり、手紙を書いたりできるように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	職員が努力はしているが、四季を感じることのできる配慮が足りない。	
			(外部評価)		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	気の合う入居者たちが、同じテーブルに着いたり長いすに並んで座られたり思い思いに自由に出来ている。	
			(外部評価)		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	なじみの物が少ない。ご家族の方にもっと説明し協力していただけるようにすることが必要。	
			(外部評価)		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	椅子の高さを入居者によって変えたり、トイレやお風呂が一目でわかるように工夫している。もっとアイデアを出し合いいろいろな工夫をしていきたい。	
			(外部評価)		